

---

2017年10月10日(火) 国崎 ウタセ真鯛 功成丸 ツレと  
 中潮:旧8/21 満潮 09:03(204cm) 干潮 14:39(94cm) 満潮 20:26(200cm) 鳥羽  
 小ダイ、小チダイ 22尾 自分 14尾 ツレ 8尾  
 マダイ 34cm ツレ チダイ 30cm ツレ  
 カンパチ 48cm : ツレ 45cm : 自分  
 ハマチ43cm (アベレージ40cm) 自分 2尾 ツレ 2尾 (43cmはツレが釣った)  
 カワハギ1尾 自分 マゴチ1尾 自分

---

11時10分 現地着	18時00分 納竿 沖上がり
11時30分 釣り座抽選	18時40分 帰路
12時00分 出船	
14時39分 干潮 (鳥羽94cm)	魚処理は翌午前中 3時間

【料金】 乗り合い 12,000円 仕掛け、氷付き 釣り座は抽選

【仕掛け】 電動リール使用を使用 竿受けが必要 おもり 40号  
 ※魚を絞めるためゴム手袋を持参  
 竿 ウタセ真鯛用(自分) マダイ用竿(ツレ)  
 サービスの仕掛け  
 ハリス5～6号 50cmくらい 3本鉤 枝間1mくらい

【様子】

- 前日に英治丸に電話したが、すでに一杯とのこと。功成丸に電話した。行くことができた。行ってみると功成丸も一杯だった。
- 電動リールか手巻きリールか迷った。他のお客さんに尋ねたところ、二人とも電動リールだったので電動リールにすることにした。
- おもり40号でおぼせ釣りをすることはなかった。潮があまり流れなかったこともあるのかもしれない。これなら、電動リールの方がよい。
- 5番くじを引いた。左舷で後ろから2人目3人目に入った。
- サービスの仕掛けは小鯛釣り用である。初めは小鯛釣り。入れ掛かりであった。
- 底まで落とすと掛かっている。当たらなければ、スローで5m巻き上げる。5m巻き上げたら底まで落とす。底まで落としたとき、すぐに巻き上がる。これが誘いとなる。いろいろ試す。小鯛釣りでは、(または、入れ掛かりタイムであるから)、待っているより、誘いを掛けた方がよいと考えた。手返しよく釣ることも心がけた。
- 当たりが止まったので移動となった。移動先はカンパチが狙えるところであった。「カンパチが釣れる場所です。自分の仕掛けを持っている人は、それに変わってもらってもいいです。」とアナウンスがあった。
- ハリス1.7mの自作仕掛けに交換した。しばらくして、隣とお祭り。サービスの仕掛けに戻した。カンパチを掛けた人がいて、サービスの仕掛けを使っていたからである。
- 「水深22m～23mがポイント」とアナウンスがあった。水深は30mくらいだったかな？
- ツレがサービスの仕掛けで、25mでハマチを釣った。一番上の鉤だった。このとき、その下の仕掛けが切られてすべてなくなった。ハリス1.7m3本鉤の自作仕掛けをセットした。
- それを聞いて、25mで止めた。カンパチが掛かった。シーボークの水深が当てにならない。前回の釣

行で高切れをしているからだ。電動リールがオートストップする位置が思い通りにならないこともあり、水深が信用できないのである。

- 夕まずめに近づいてきた。良型マダイも狙おうと、自分も自作仕掛け(ハリス1.7m、3本鉤)に付け替えた。
- これでカワハギ、マゴチを釣った。
- ツレが底で、カンパチ、ハマチのダブルをつった。船長がエサ巻きをツレの横で始めた直後だった。
- 夕まずめに近づき、船長から、「30mより深いところで釣る。エサ取りにやられるから、頻繁にエサチェックをする。」とアナウンスがあった。30mより深いところは、底であった。
- 結局、二人とも夕まずめに当たりはなかった。
- 18時、「釣れないから終わります」とアナウンスがあり、終了となった。

#### 【ドラッグ】

- ラインをきつく引き出したときにドラッグが滑るように調節した。



- ※小鯛釣りの入れ掛かりタイムは、積極的に誘う。
- ※功成丸のウタセ真鯛釣りは電動リールがよい。